

あらゆる関係者が協働して水害対策を行う

流域治水プロジェクト

都田川水系・馬込川水系・天竜川水系・太田川水系・菊川水系



水災害から守る

流域治水とは？

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防整備やダム建設・再生等の対策をより一層加速するとともに、集水域から氾濫域にかけて流域全体に関わるあらゆる関係者が協働し水害対策を推進していくことです。

遠州流域における関係者の思い

●各首長・所長よりいただいたご意見

静岡県内の関係機関



鈴木康友
浜松市長

明善翁による治山治水の歴史に立ち返り、天竜川上下流の関係者が一体となった流域治水対策をしなければならない。市としても確実な推進に努めてまいります。



草地博昭
磐田市市長

気候変動の影響による水害の更なる激甚・頻発化に備え、あらゆる関係者と一体となり「流域治水プロジェクト」による総合的・多層的な水害防止対策に努め、安全・安心な地域づくりに邁進します。



大場規之
袋井市長

これまで取り組んできた水田貯留や校庭貯留などの「流域治水」をさらに発展させ、だれもが安全、安心に暮らせる風水害に強い地域づくりに貢献します。



久保田崇
掛川市長

近年、大雨や台風による水害が頻発しています。市民が安全・安心に暮らすことができるよう、流域のあらゆる関係者が協働する「流域治水」へ転換し、浸水被害の軽減を図ります。



長谷川寛彦
菊川市長

年々深刻化する風水害に備えるための早急な対応が求められます。関係機関が連携した治水対策や住民の方への啓発を推進し、流域の浸水被害を減少させ、住民の生命と財産を守ります。



太田康雄
森町長

太田川上流域に位置する森町は、森林整備や、中小河川の浚渫、農業用ため池の耐震対策等を積極的に推進するとともに、流域関係者の皆様と連携し、水害に強い流域づくりに取り組んでまいります。



廣瀬聡
浜松土木事務所長

流域の葉脈をなす中小河川の管理者として、地域社会に密着し、あらゆる関係者と一体となって「流域治水」の取組みを進めます。



酒井浩行
袋井土木事務所長

近年激甚化・頻発化する水災害に対し、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を一層加速化するとともに、あらゆる関係者との多層的な取組により、流域の強靱性が高まるよう努めてまいります。



平松久典
西部農林事務所長

水田の貯留機能、森林の水源かん養・土砂流出防止機能等が、流域内で効果的に発揮できるよう関係する皆さまと一緒に取り組んでいきます。



森谷浩行
中遠農林事務所長

中遠地域は静岡県内随一の農地面積を抱え、米や白ネギ、海老芋など優良な農作物の産地となっています。これら優良農地を水害から守るため、関係する皆様と共同して流域治水に取り組んでいきます。

愛知県内の関係機関



土屋浩
設楽町長

天竜川上流部に位置する当町では、森林の適正管理に務め山林の保水力向上を進めるとともに、河川浚渫等を行い、昨今の大規模な水災害にも対応できる流域対策に取り組んでいきます。



村上孝治
東栄町長

天竜川水系大千瀬川の源流域となる当町の森林を、緑のダムとしての機能を再生させるためには、人工林の施業は喫緊の課題です。山林の手入れにより流域治水に取り組めます。



伊藤実
豊根村長

天竜川流域一体としての連携を深めながら、間伐や植林など森林の適正管理や河川対策を進め、災害に強い地域づくりを進めていきます。



原勝
新城設楽建設事務所長

流域の関係者と協働し、河川・砂防の両面からハード・ソフト対策ともに「流域治水」に取り組む、流域全体の水災害が少しでも軽減できるよう努めます。



小林敬
新城設楽農林水産事務所長

森林保全、治山施設の整備により、土砂流出の抑制などの森林の持つ公益的機能の維持・増進に取り組むことで、流域治水に貢献します。

国の関係機関



吉田敏章
国土交通省浜松河川国道事務所長

菊川水系、天竜川水系の流域治水協議会の設立から、様々な関係者が集まることができました。お互いを知り、建設的な話を重ねながら、よりよい実践に向けて取り組んでいきましょう。



松尾清史
林野庁天竜森林管理署長

森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向け、治水や河川整備等による「流域治水」の取組と連携した森林整備・治山対策を進めていきます。



高嶺透
国土交通省気象庁静岡地方気象台長

旧浜松測候所で天気観測を開始して、今年(2022年)で140年。静岡地方気象台では、これからも適時・的確な観測・予警報等の発表に努めてまいります。

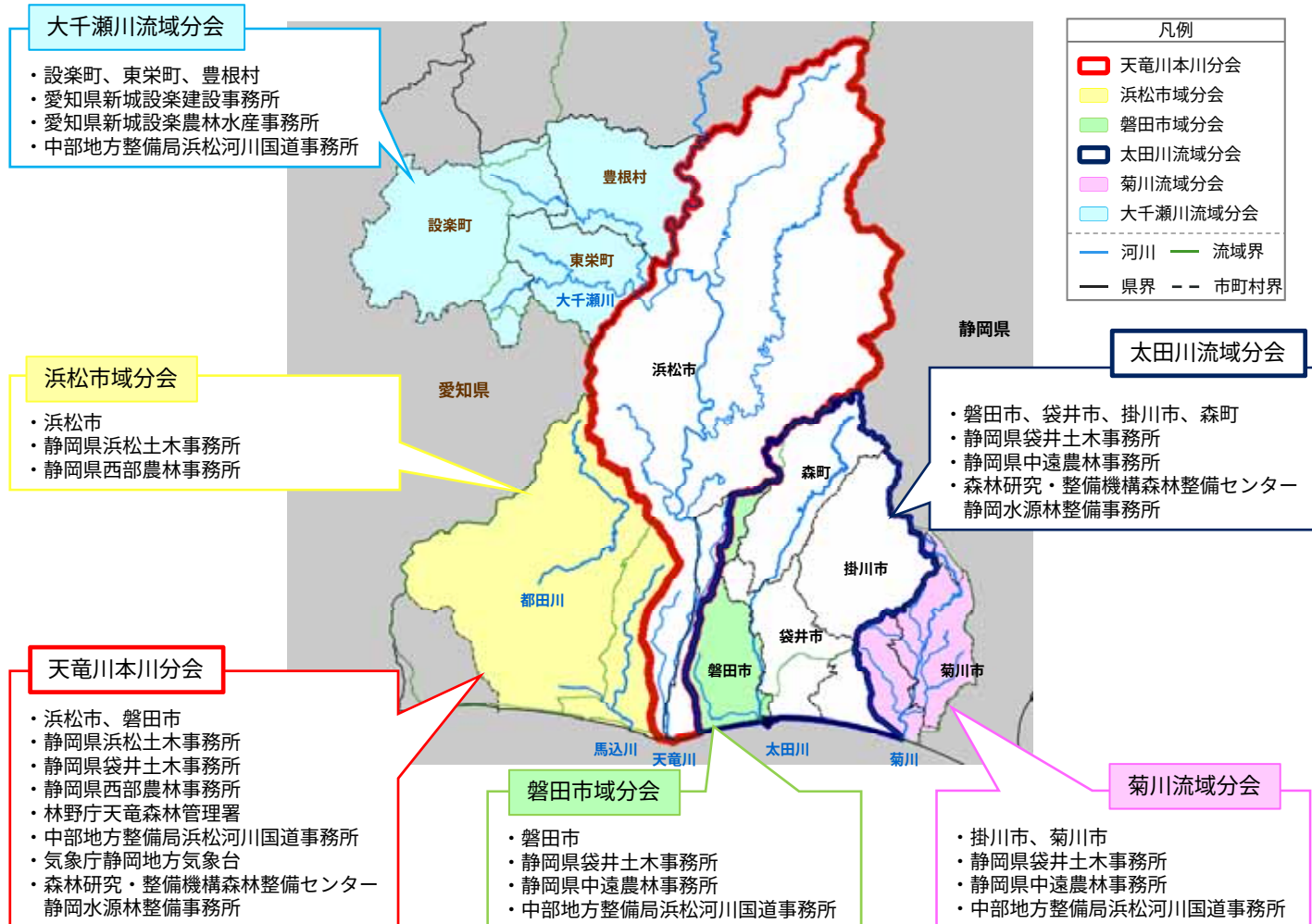
その他の関係機関



天田泰
静岡水源林整備事務所長

天竜川流域においては、森林の水源涵養機能等、公益的機能を効果的に発揮させるために、水源林造成事業として間伐等、森林の整備・保全に取り組む、流域治水に貢献します。

遠州流域と各構成員の事業範囲



遠州流域の概要と特徴

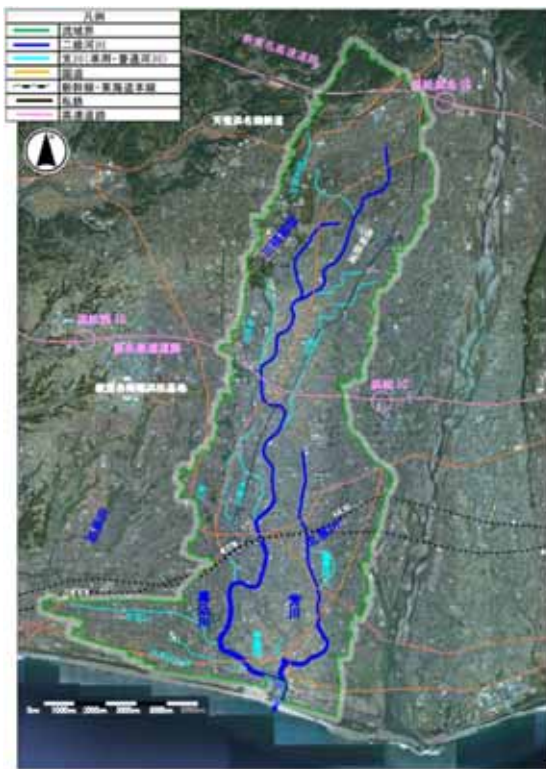
都田川水系



都田川水系の概要と特徴

都田川水系は、静岡県西部に位置し、都田川や新川などの浜名湖に流入する河川と浜名湖及び猪鼻湖や松見ヶ浦などの支湖から成り、今切口から遠州灘へ注ぐ、河川総延長（二級河川指定区間）は 166km、流域面積は 524km²と県内最大の流域面積を有す二級水系です。

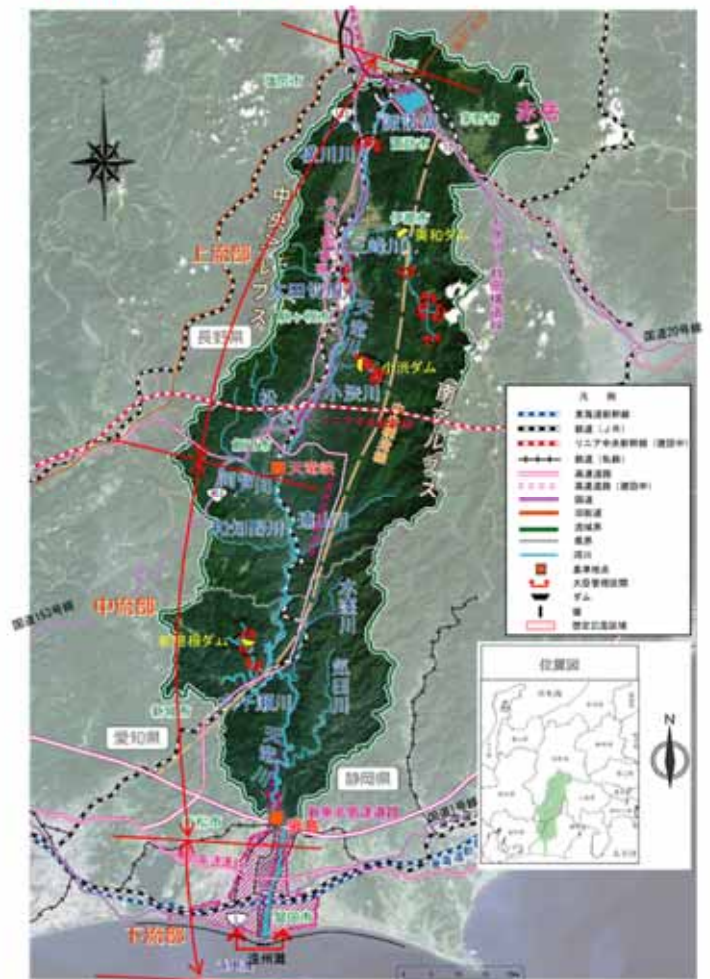
馬込川水系



馬込川水系の概要と特徴

馬込川は、浜松市浜北区新原地先の浜名用水流入点に源を発し、右岸から御陣屋川等を合わせて市内をほぼ北から南へ蛇行しながら貫流した後、海岸砂丘の直前で流路を東に変え、左岸から芳川を合わせて遠州灘に注ぐ幹線流路延長23.2km、流域面積 105.2km² の二級河川です。

天竜川（下流）水系



天竜川流域の概要と特徴

天竜川は、八ヶ岳を源流とした大小30あまりの河川が諏訪湖に流水を集めた後、天竜川として長野県南部、愛知県東部、静岡県西部を貫いて太平洋に注ぐ、幹川流路延長213km、流域面積 5,090km²の一級河川です。

太田川は、その源を静岡県周智郡森町大日山（881m）に発し、森町を縦断しながら平野部を流れ、磐田市域で敷地川を、袋井市域で原野谷川を合わせ、さらに河口付近でぼう僧川と合流し遠州灘に注ぐ、幹線流路延長約44km、流域面積は約488km²の県内最大級の二級河川です。

The map shows the Miyagi River (Miyagi-gawa) flowing from the north towards the coast. Major cities and towns labeled include Miyagi City (Miyagi-shi), Sendai City (Sendai-shi), and various towns like Iwate, Iwate, and Iwate. The map also shows the Miyagi Expressway (Miyagi Expressway) and the Tohoku Expressway (Tohoku Expressway). A legend in the bottom right corner explains the symbols used for city boundaries, rivers, roads, and other features. The map is oriented with North at the top.

凡例

- 流域界
- 市行政界
- JR東海道新幹線
- JR東海道本線
- 私鉄
- 高速道路
- 国道
- 基準地点
- 国管理区画
- 平均年降水量

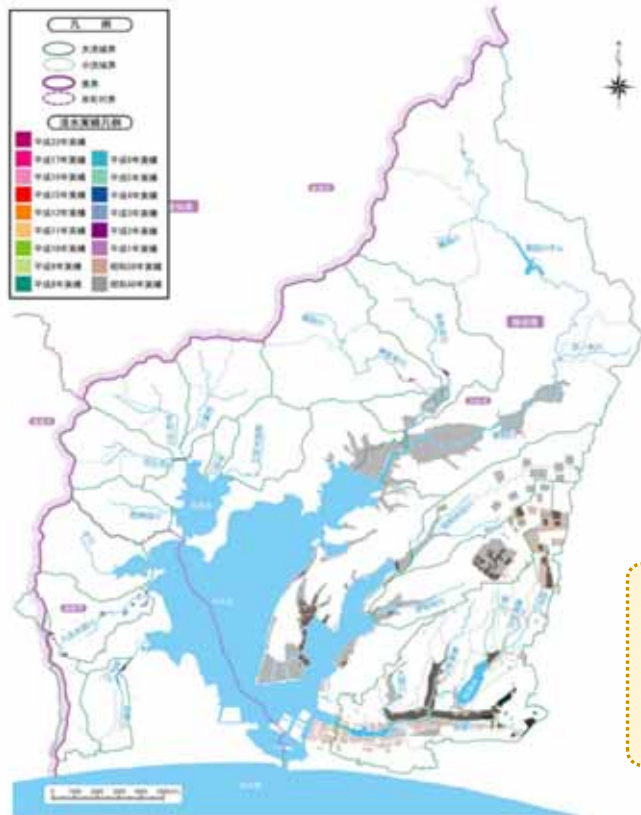
菊川は、静岡県掛川市粟ヶ岳（標高532m）を源とし、東の牧之原台地、西の小笠山丘陵に挟まれた低平地を蛇行しながら南に流下し、下小笠川や牛淵川等多くの支川を合わせ、遠州灘に注ぐ、幹川流路延長28km、流域面積158km²の一級河川です。

遠州灘沿岸は、静岡県御前崎から愛知県伊良湖岬に至る、約117kmの海岸で、天竜川河口を頂点として東西に緩やかな弧を描く、我が国有数の長大な砂浜海岸です。浜岡砂丘や中田島砂丘に代表される砂丘がほぼ全域にわたって発達し、背後を覆うクロマツ林とともに白砂青松の美しい景観を誇っています。

遠州流域の過去の災害

都田川水系

都田川流域では、堀留川や東神田川 など、昭和 49 年 7 月洪水及び昭和 50 年 10 月洪水を始め、多くの水害が発生しました。



馬込川水系

平成29 年6 月

○五反田川合流点（馬込川 21.0k）付近）で浸水被害が発生



馬込川流域における戦後最大規模の浸水被害は、昭和50年10月の豪雨（床上浸水333棟、床下浸水7,015棟）であり、近年は、支川の高塚川周辺など下流域の低地部を中心に内水被害が多発しています。

天竜川（下流）水系

昭和36年6月 梅雨前線

- 上流域を中心に総雨量500mmを超過
- 破堤や大西山崩落等の被害が発生



昭和43年8月 台風10号
※戦後2番目

- 佐久間町の吊橋「大輪橋」が落橋
- JR飯田線「大千瀬鉄橋」が落橋



昭和58年9月 台風10号
河川整備計画目標洪水[中・上流部]
※観測史上最大流量

- 各地で河川氾濫、堤防の決壊、土砂崩れ等が発生
- 家屋の破壊・流失や浸水、道路や鉄道が寸断される等の大きな被害が生じた



太田川水系

太田川水系の洪水被害としては、古くは享保19年（1734年）に記録が残るほか、昭和29年9月、昭和49年7月、昭和50年10月、平成10年9月出水による洪水をはじめ、近年においても度々浸水被害が発生しています。

昭和49年7月（七夕豪雨） 台風8号と梅雨前線

○太田川本川の3ヶ所で堤防が破堤、家屋の全壊流失87戸、浸水家屋2,240戸、農地浸水989haにのぼる大災害となった



桜井市延久付近



桜井市延久付近

昭和57年9月台風18号

○掛川市内の逆川の堤防の決壊や溢水により床下浸水2,384戸、床上浸水1,131戸に及ぶ大災害となった



平成10年9月 台風6・7号

○逆川の溢水と今ノ浦川の内水氾濫により床下浸水152戸、床上浸水69戸が発生



掛田市二之宮付近

平成26年10月 台風18号

○原野谷川（掛川市吉岡）で右岸堤防約70mにわたる越水があり、家屋浸水被害が発生



菊川水系

昭和57年9月台風18号 (河川整備基本方針 目標洪水) ※観測史上最大洪水

○菊川右岸17.0k付近他3箇所の決壊氾濫や八王子橋（15.0k付近）が流失



約1,500m³/s
(国安地点 ※計算推定値)

○決壊氾濫箇所

菊川16～17k付近

平成10年9月 秋雨前線 (河川整備計画 目標洪水) ※戦後2番目

○菊川市加茂地区等の内水被害が多い地域の浸水被害など、流域全体に大きな被害が発生
○支川下小笠川では、第一城東橋が落橋



約1,200m³/s (国安地点)

菊川市加茂地区

令和元年10月台風19号 (流域平均雨量既往最大)

○支川牛淵川では、左岸11.5k付近において越水
○支川黒沢川、江川において内水氾濫により浸水被害が発生



菊川市神尾地区

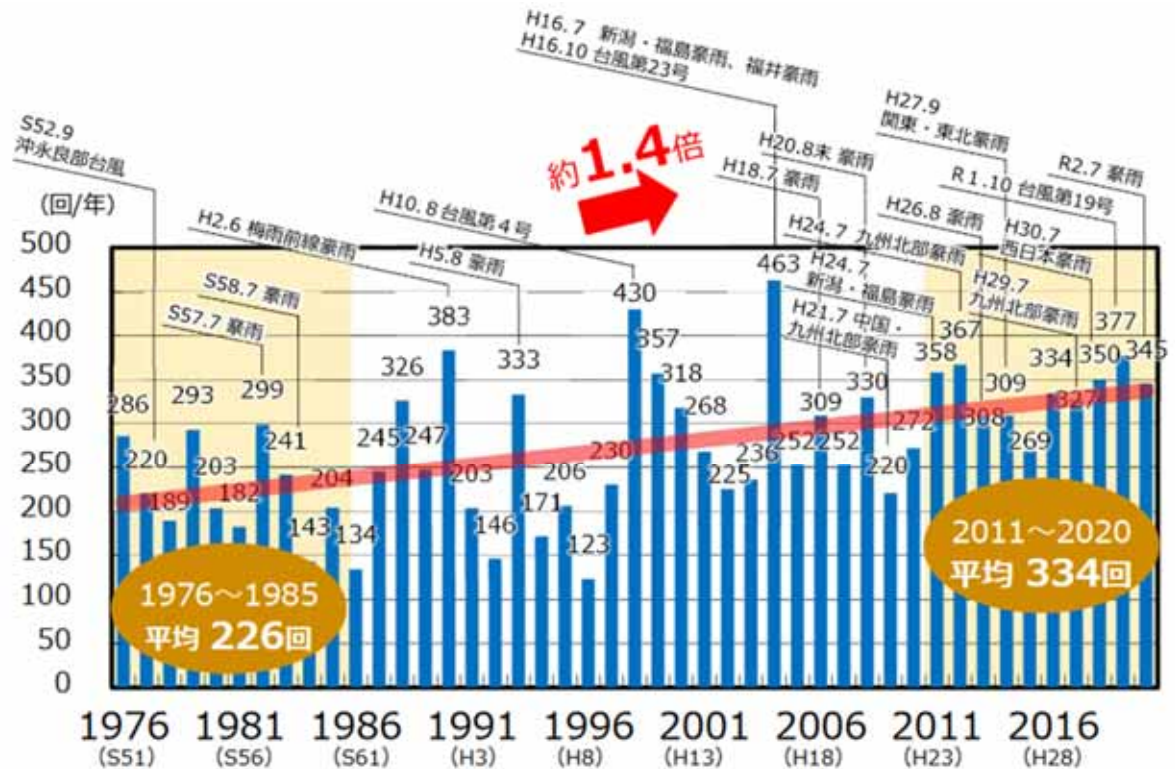


菊川市岳洋地区

近年全国で激甚化する災害

雨の降り方が変化

- 時間雨量50mmを超える短時間強雨の発生件数が増加しています。
- 気候変動の影響により、水害の更なる頻発・激甚化が懸念されます。



水災害の激甚化

平成
27
～
29
年

平成27年9月関東・東北豪雨



① 鬼怒川の堤防決壊による浸水被害
(茨城県常総市)

平成28年熊本地震



② 土砂災害の状況
(熊本県南阿蘇村)

平成28年8月台風10号



③ 小本川の氾濫による浸水被害
(岩手県岩泉町)

平成29年7月九州北部豪雨



④ 桂川における浸水被害
(福岡県朝倉市)

平成
30
年

7月豪雨



⑤ 小田川における浸水被害
(岡山県倉敷市)

台風第21号



⑥ 神戸港六甲アイランドにおける浸水被害
(兵庫県神戸市)

北海道胆振東部地震



⑦ 土砂災害の状況
(北海道勇払郡厚真町)

令和
元年

房総半島台風



⑧ 電柱・倒木倒壊の状況
(千葉県鴨川市)

東日本台風



⑨ 千曲川における浸水被害状況
(長野県長野市)

令和
2年

7月豪雨



⑩ 球磨川における浸水被害状況
(熊本県人吉市)



- 流域治水とは、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方です。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハードソフト一体で多層的に進めます。



- 気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえ、河川管理者が主体となって行う河川整備等の事前防災対策を加速化させることに加え、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う、「流域治水」を推進し、総合的かつ多層的な対策を行います。

流域治水：流域全体で行う総合的かつ多層的な水災害対策

堤防整備等の氾濫をできるだけ防ぐための対策

- 堤防整備、河道掘削や引堤
- ダムや遊水地等の整備
- 雨水幹線や地下貯留施設の整備
- 利水ダム等の洪水調節機能の強化

加えて

被害対象を減少させるための対策

- より災害リスクの低い地域への居住の誘導
- 水災害リスクの高いエリアにおける建築物構造の工夫

被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 水災害リスク情報空白地帯の解消
- 中高頻度の外力規模（例えば、1/10、1/30など）の浸水想定、河川整備完了後などの場合の浸水ハザード情報の提供

まず、対策の加速化

流域治水協議会設立及び取組状況

流域治水プロジェクトの策定

「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト（令和2年7月6日）」のとりまとめを踏まえ、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換を図るため、「流域治水プロジェクト」を全国の一級水系109河川で策定しました。



流域治水協議会の設立

「流域治水プロジェクト」の策定及びプロジェクトに位置付けられた対策の実施状況のフォローアップを行うための「流域治水協議会」の設立。

菊川流域治水協議会

令和2年7月20日設立

協議会：令和2年7月20日、9月24日、

令和3年3月29日

幹事会：令和2年8月26日、

令和3年3月3日、7月7日

天竜川（下流）流域治水協議会

令和2年9月24日設立

協議会：令和2年9月14日、

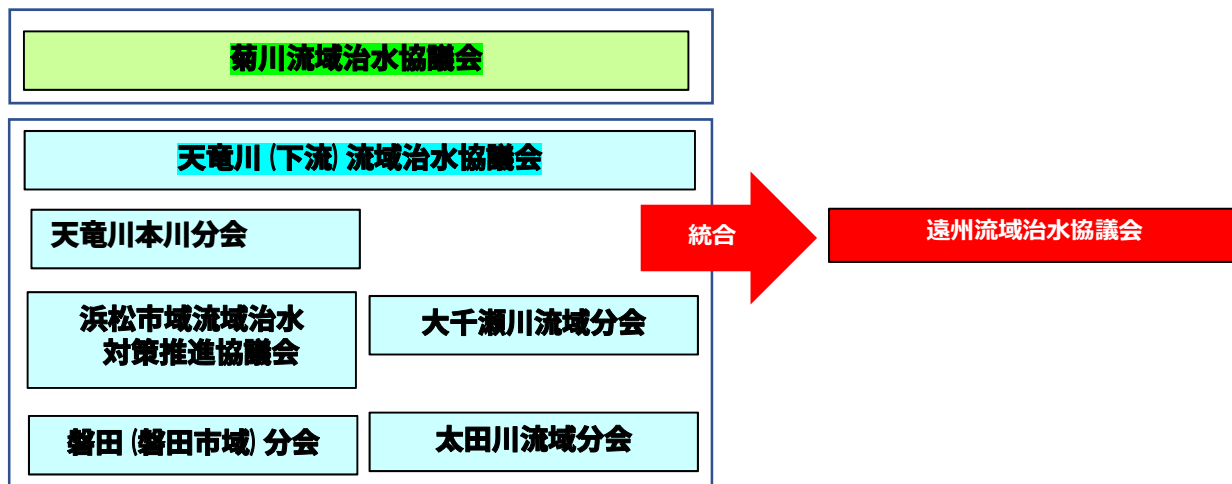
令和3年1月8日、3月29日

幹事会：令和2年11月13日、12月21日、

令和3年1月26日、3月3日、7月7日

流域治水協議会の統合

流域治水プロジェクトに関わる取組を総合的かつ一体的に推進するため、遠州地域の協議会を統合した「遠州流域治水協議会」を設置し運用しています。



遠州流域治水協議会 発足

開催目的

「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト（令和2年7月6日）」のとりまとめを踏まえ、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換を図るために菊川流域治水協議会と天竜川（下流）流域治水協議会で策定された流域治水プロジェクトに関わる取組に対し、総合的かつ一体的に推進するため、遠州地域の協議会を統合した「遠州流域治水協議会」を設置し運用する。

開催概要

日 時：令和3年8月5日（木） 16:00～17:00

会 場：掛川グランドホテル 3階シャングリラスイート

出 席：浜松市・磐田市・袋井市・掛川市・菊川市・森町・設楽町・東栄町・豊根村

静岡県 浜松土木事務所長・袋井土木事務所長・中遠農林事務所長・西部農林事務所長・愛知県 新城設楽建設事務所・新城設楽農林水産事務所・国土交通省浜松河川国道事務所・林野庁天竜森林管理署
・（国研）静岡水源林整備事務所

議 事：（1）規約について

（2）太田川流域治水プロジェクトについて

その他：（1）流域治水の話題

（2）菊川水系と惣川で田んぼ貯留樹設置開始

（3）流域治水プロジェクト実施効果 （4）令和3年7月29日出水速報



遠州流域治水協議会 組織図



【本会】

遠州流域治水協議会 設立：令和3年8月5日 規約改訂：令和4年3月15日

構成員：浜松市長・磐田市長・袋井市長・掛川市長・菊川市長・森町長・設楽町長・東栄町長・豊根村長
静岡県 浜松土木事務所長・袋井土木事務所長・中遠農林事務所長・西部農林事務所長
愛知県 新城設楽建設事務所長・新城設楽農林水産事務所長
国土交通省浜松河川国道事務所長・気象庁静岡地方気象台長・林野庁天竜森林管理署長
（国研）静岡水源林整備事務所長

遠州流域治水協議会（幹事会） 設立：令和3年8月5日（同時施行） 規約改訂：令和4年2月2日

構成員：浜松市・磐田市・袋井市・掛川市・菊川市・森町・設楽町・東栄町・豊根村
静岡県土木（浜松・袋井）・静岡県農林（西部・中遠）・
愛知県（建設・農林）事務所・天竜森林管理署・
浜松河川国道事務所・静岡地方気象台・（国研）静岡水源林整備事務所

【分会】

天竜川本川分会

浜松河川国道事務所

※各分会との協力・
情報交換

浜松（浜松市域）分会

（浜松市域流域治水対策推進
協議会）

流域内の関係機関
対象：安間川・馬込川・
堀留川など

磐田（磐田市域）分会

流域内の関係機関
対象：一雲済川流域など

大干瀬川流域分会

流域内の関係機関
対象：大干瀬川流域

菊川流域分会

流域内の関係機関
対象：菊川流域

太田川流域分会

流域内の関係機関
対象：太田川流域

オブザーバー：

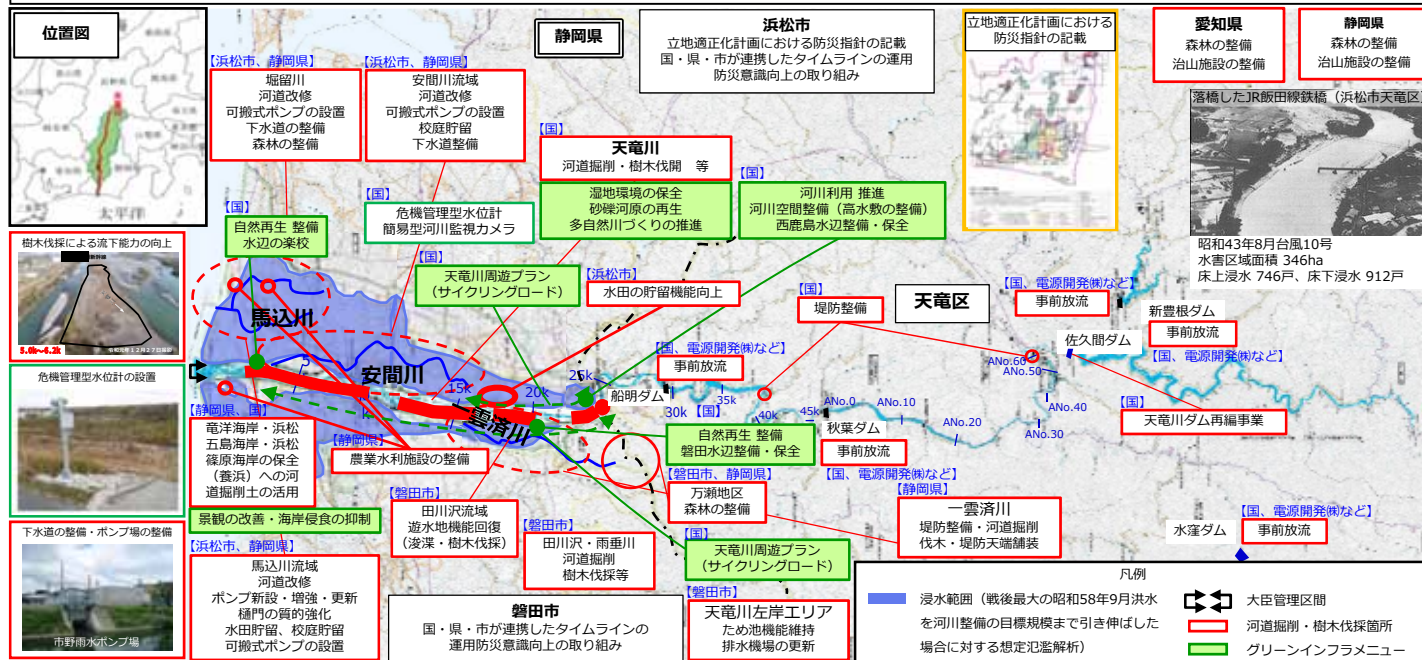
農水省 西関東土地改良調査管理事務所
電源開発(株)
浜松商工会議所

●位置図 天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト

～暴れ天竜を地域全体で制する 金原明善翁の夢のつづき～

●グリーンインフラの取り組み 『歴史的な天竜川の情景を踏まえた自然環境の保全・再生』

- 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、天竜川(下流)水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大規模の昭和58年9月洪水を上回る洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。
- 天竜川下流域は日本経済を支える産業集積地域であるが扇状地地形となっており、広域に水害リスクがあるため、河川整備と被害対象を減少させるための対策、企業BCPの作成等のソフト対策を合わせて実施し浸水被害の軽減・早期復旧を図る。
- 天竜川の有する良好な景観やフンド等の水際湿地等の保全・再生を目指し、今後概ね20年間に、河道掘削等による砂礫河原の再生・保全など、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河道掘削、樹木伐採、堤防整備 等
 - 天竜川ダム再編事業
 - 下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
 - 逆流防止施設の整備、樋門の質的強化
 - 森林の整備、治山施設の整備
 - 砂防施設等の整備
 - 利水ダム等5ダムにおける事前放流の実施、体制構築（関係者：国、電源開発等） 等

- 被害対象を減少させるための対策
- 立地適正化計画における防災指針の記載 等
- グリーンインフラの取り組み
- 治水対策における多自然川づくり
 - 自然環境が有する多様な機能活用の取り組み
 - 地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携支援

- 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策
- 堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
 - 水害リスク空白域の解消
 - ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
 - 要配慮者利用施設管理者等の避難確保計画の作成、訓練の実施の促進
 - 国・県・市が連携したタイムラインの運用
 - 国・県による洪水ハザードマップの作成支援
 - マイハザードマップの作成支援、土砂災害関連情報配信
 - 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置

- 土砂災害警戒区域等の指定・周知
- 洪水予測等のプッシュ型情報提供
- 企業BCPの作成推進
- 住民、教育機関等への防災・減災知識の普及啓発活動
- マイタイムラインの作成推進 等

●天竜川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】天竜川下流で水位低下を目的とした河道掘削や樹木伐採等を実施。立地適正化計画における防災指針の記載や防災情報の発信を行い被害の軽減を図る。

【中期】流下能力向上のための河川整備及び内水対策を実施。水田・校庭貯留等の流出抑制対策の検討を開始。

【中長期】河道掘削、樹木伐採に加え雨水貯留施設等の流域対策を推進し、流域全体の安全度向上を図る。

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 被害対象を減少させるための対策	河道掘削、樹木伐採による流下能力の向上	浜松河川国道事務所 静岡県	下流部の河道掘削 (浜松河川国道事務所)		
	天竜川ダム再編事業	浜松河川国道事務所	下流部・上流部の河道掘削 (浜松河川国道事務所)		
	堤防整備による治水安全度の向上	浜松河川国道事務所 静岡県	天竜川ダム再編事業完成		
	ポンプ場、樋門等の施設や下水道整備による内水対策	浜松市、磐田市	谷山地区堤防整備 (浜松河川国道事務所)		
	フラップゲート等による逆流防止対策	浜松市	中部地区堤防整備 (浜松河川国道事務所)		
	水田貯留、校庭貯留、雨水貯留施設等による流出抑制対策	浜松市、磐田市、 水田所有者・耕作者	対策の実施(浜松市、磐田市)		
被害対象を減少させるための対策	砂防施設等の整備 森林の整備 治山施設の整備	静岡県、愛知県、浜松市、磐田市、 天竜森林管理署、静岡水源林整備事務所	検討の実施 (浜松市、磐田市)		
	竜洋海岸・浜松五島海岸・浜松篠原海岸の保全（養浜）への河道掘削土の活用	浜松河川国道事務所 静岡県	対策の実施(浜松市)		
	立地適正化計画における防災指針の記載 (都市計画区域内)	浜松市	立地適正化計画に基づく防災指針		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難計画や防災意識向上のための取り組み	浜松河川国道事務所 静岡県、浜松市、磐田市	水位、カメラ情報の提供 (浜松河川国道事務所、 浜松市、磐田市)		
	湿地環境の保全、砂礫河原の再生、多自然川づくりの推進、	浜松河川国道事務所 静岡県、浜松市、磐田市	防災意識の啓発活動等の継続実施		
	河川空間整備（高水敷の整備） サイクリングロード		河川掘削との連携による海岸養浜 (浜松河川国道事務所、静岡県)		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある

●令和3年度の取組報告

■天竜川河道掘削・樹木伐開



国土交通省 浜松河川国道事務所 実施

■国有林における森林の整備・保全対策 (天竜区水窪町内の治山工事)



林野庁 天竜森林管理署 実施

■水源森造成事業における森林の整備保全



森林整備センター 静岡水源林整備事務所 実施

■天竜川支川 河道掘削 (気田川)



静岡県浜松土木事務所 実施

■治山施設の整備



静岡県西部農林事務所 実施

■森の力再生事業



静岡県西部農林事務所 実施

■企業BCP作成支援



- ・第一部
令和3年11月1日
- ・第二部
令和3年12月1・16日
- 参加者
浜松商工会議所所属64名
(会場：11名、WEB 53名)

●今後5カ年のロードマップ

取組実績

予定

項目	実施主体	令和3年度	令和4年度	令和5年度～令和7年度
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	■河道掘削、樹木伐開による流下能力の向上	天竜川 河道掘削13.1万m ³ 伐開4.7万m ² 気田川、阿多古川、熊切川、杉川、二俣川、不動川 河道掘削3.7m ³	河道掘削 低水護岸 継続	継続
	■天竜川ダム再編事業	治水・堆砂対策施設の調査・設計、置土、工事用道路工事 等	治水・堆砂対策施設の調査・設計、置土、工事用道路工事 等	継続
	■堤防整備による治水安全度の向上	谷山地区の堤防整備実施中		
	■砂防施設等の整備 森林の整備 治山施設の整備	静岡県 治山工事33ヶ所、森の力再生168ha、林道4,957m	治山工事、森林の整備、林道改良	継続
		天竜森林管理署 治山工事4件、森林の整備67ha、林道210m	治山工事、森林の整備、林道改良	継続
		静岡水源林整備事務所 森林の整備保全125ha	除間伐等	継続
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	■竜洋海岸・浜松五島海岸・浜松篠原海岸の保全（養浜）への河道掘削土の活用	河道掘削（国事業）の土砂を養浜対策（県事業）へ運搬	河道掘削（国事業）の土砂を養浜対策（県事業）へ運搬	継続
	■避難計画や防災意識向上のための取り組み	水害BCPの作成支援	作成支援会を実施	継続

〈安間川ブロック〉

-
- 位置図**
- [凡例]**
- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 (Red box)
 - 被害対象を減少させるための対策 (Yellow box)
 - 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 (Green box)
- 開発許可制度の見直し（市街地縁辺集落制度の見直し）
立地適正化計画における防災指針の記載（都市計画区域内）
- 透水・浸透施設の整備
- 安間川
樹木伐開
安間川ポンプ場整備
安間川校庭貯留
安間川校庭貯留
安間川校庭貯留
安間川河道改修
安間川校庭貯留
安間川校庭貯留
安間川河道改修

- ## ●ロードマップ

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	県管理河川の河道改修	静岡県			
	下水道施設の整備	浜松市			
	校庭等貯留施設の整備	静岡県 浜松市			
	浸透・透水性施設の整備	浜松市			
被害対象を減少させるための対策	開発許可制度の見直し（市街地縁辺集落制度の見直し）	浜松市			
	立地適正化計画における防災指針の記載（都市計画区域内）	浜松市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白域の解消	静岡県 浜松市			
	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等）	静岡県 浜松市			
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県			
	要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	浜松市			
	地域が作成する避難計画の作成支援（緊急避難所の指定等）	浜松市			
	通行規制情報の周知（浜松市防災マップ）	浜松市			
	水位情報およびカメラ映像の提供（県：サイボスレーダー、浜松市：浜松市土木防災情報システム）	静岡県 浜松市			
	緊急時のポンプ排水（可搬式ポンプの設置）	浜松市			
	土のうステーション運営（東区役所ほか）	浜松市			
	水防団の強化（備蓄資材の拡充、水防倉庫の改修等）	浜松市			

〈天竜区ブロック〉

-
- 位置図**
- 天竜区内
森林整備・治山事業
- 阿多古川
河道掘削
- 二俣川
河道掘削
- 二俣川
- 気田川
河道改修
- 気田川
河道掘削
- 気田川
護岸補強
- 不動川
河道掘削
- 熊切川
河道掘削
- 杉川
河道掘削
- 不動川
- 熊切川
- 杉川
- 凡例**
- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 被害対象を減少させるための対策
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 立地適正化計画における防災指針の記載（都市計画区域内）**
- 水災害リスク情報空白域の解消
 - ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等）
 - 宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明
 - 要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - 地域が作成する避難計画の作成支援（緊急避難所の指定等）
 - 通行規制情報の周知（浜松市防災マップ）
 - 水位情報およびカメラ映像の提供（県：サイボスレーダー、浜松市：浜松市土木防災情報システム）
 - 土のうステーション運営（東区役所ほか）

【天竜区ブロック】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	県管理河川の河道改修	静岡県			
	森林整備・治山事業による浸透能向上（天竜区内）	静岡県 浜松市			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画における防災指針の記載（都市計画区域内）	浜松市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白域の解消	静岡県 浜松市			
	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等）	静岡県 浜松市			
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県			
	要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	浜松市			
	地域が作成する避難計画の作成支援（緊急避難所の指定等）	浜松市			
	通行規制情報の周知（浜松市防災マップ）	浜松市			
	水位情報およびカメラ映像の提供（県：サイボスレーダー、浜松市：浜松市土木防災情報システム）	静岡県 浜松市			
	土のうステーション運営（天竜区役所）	浜松市			

●参考資料：愛知県の対策 天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト

- 天竜川水系にある愛知県北設楽郡内の森林においては、**治山事業**により治山ダム等を設置し、土砂流出の抑制機能などの森林が持つ公益的機能の維持・増進に取り組むことで、中・下流域の氾濫防止を図っていく。
- 中でも東栄町、豊根村においては、治山事業により「水源森林再生対策事業」、「山地災害重点地域総合対策事業」を実施し、重点的な整備に取り組んでいく。

山地災害重点地域総合対策事業
【R2ゼロ国 谷止工の設置】



北設楽郡東栄町 地内
渓流の勾配を緩和
下流域への土砂流出を抑止

水源森林再生対策事業
【R2本数調整伐の実施】



北設楽郡豊根村 地内
水源かん養機能の高い森林の維持・造成
伐採木を等高線に並べ表面土壌の
流出を防止

- 天竜川水系にある愛知県北設楽郡内の森林においては、**造林事業**や**あいち森と緑づくり事業**で、間伐等の森林整備を実施し、土砂流出を抑制する機能や雨水浸透機能などの森林が持つ公益的機能の維持・増進に取組むことで、中・下流域の氾濫防止に資する。



お問い合わせ（大千瀬川流域） 愛知県新城設楽建設事務所 053-623-8695 愛知県新城設楽農林水産事務所 053-662-0544

●参考資料：森林区域の対策 天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト

天竜川流域における国有林の森林整備・保全対策の実施状況等について

- 天竜川流域においては、国有林は約18,180haの森林が存在する。
- 森林については、その整備・保全を進めることにより、下流への土砂や流木の流出の抑制や、土壌が保持されることにより水が浸透しやすくなることによる保水機能の維持を通じて、流域治水プロジェクトの関係施策として連携していくこととしていくところだ。



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 水源林造成事業

■対策内容：水源林造成事業による森林の整備・保全

- 水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- 天竜川流域における水源林造成事業地は、約700箇所（森林面積 約18千ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。

水源林の整備



針広混交林



育成複層林

森林整備実施イメージ



間伐実施前



間伐実施後



【森林整備：間伐】



【治山：溪間工
(リットルゲム)】



【森林整備：林道
(整備)】



【治山：山腹工】

お問い合わせ（大千瀬川流域） 農林水産省 天竜森林管理署 053-588-5591
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 静岡水源林整備事務所 054-255-9116

●令和3年度の取組報告

■砂防堰堤事業の実施



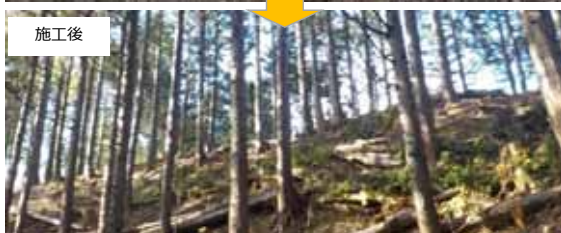
愛知県 新城設楽建設事務所 実施

■治山ダムの設置



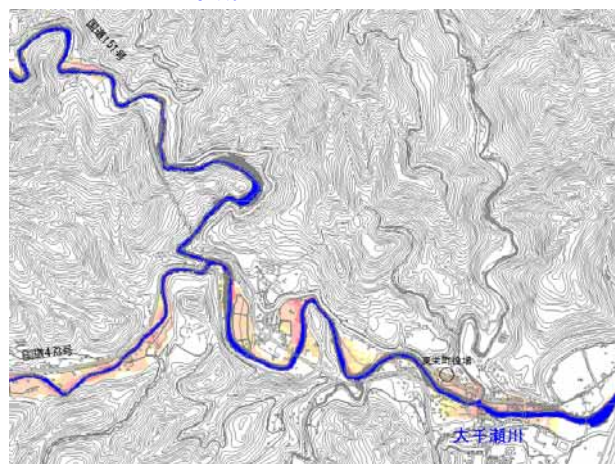
愛知県 新城設楽農林水産事務所 実施

■水源森造成事業における森林の整備保全



愛知県 新城設楽農林水産事務所 実施

■浸水予想図の作成



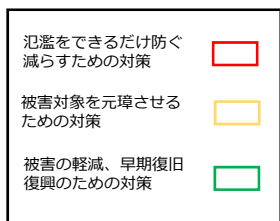
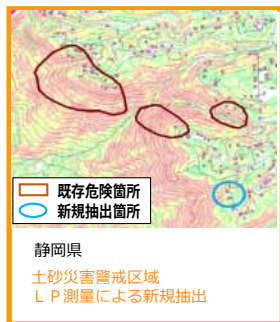
愛知県 新城設楽建設事務所 実施

●今後5カ年のロードマップ

項目		実施主体	令和3年度	令和4年度	令和5年度～令和7年度
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	■砂防施設等の整備	愛知県新城設楽建設事務所	砂防関係事業の実施 13箇所	砂防関係事業の実施	継続
	■森林保全	愛知県新城設楽農林水産事務所	本数調整伐 18ha	本数調整伐の実施	継続
	■治山施設の整備	愛知県新城設楽農林水産事務所	治山ダム工 14個	治山ダム工の整備	継続
	■事前放流	浜松河川国道事務所	事前放流の実施体制 3回	引き続き事前放流を実施	継続
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	■避難計画や防災意識向上のための取り組み	愛知県新城設楽建設事務所	浸水予想図の作成 11河川		
		愛知県新城設楽建設事務所	水位情報の提供	水位情報の提供	継続

●参考資料：磐田市域の対策 天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト

- 河川整備計画に基づき、河川改修を推進していく。
- 流下能力向上のために河道掘削、伐木等を実施していくとともに、遊水地の機能回復を図るため、浚渫等を実施する。
- 危機管理型ハード対策として、築堤部に決壊までの時間を引き延ばすための堤防天端舗装を実施していく。
- ため池4施設の機能を維持・回復するため、継続して補修を実施する。
- 森林整備を実施し、下流への流出の抑制などの森林の多面的な機能強化に取り組む。
- 市民の防災意識の向上を図るため、各種防災情報等の提供や、取り組みの支援を実施する。
- 水災害リスク情報空白地帯の解消として洪水浸水想定区域図を作成する。



●ロードマップ

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備による治水安全度の向上	静岡県	一雲済川 (県)		
	河道掘削、伐木等による流下能力向上	浜松河川国道事務所・静岡県・磐田市	天竜川 (国)、一雲済川 (県)、(準) 田川沢・雨垂川 (磐田市)		
	堤防天端舗装による危機管理型ハード対策	静岡県			
	ため池機能維持	磐田市	ため池4施設機能維持 (磐田市)		
	田んぼ貯留池	磐田市	広報活動継続展開 (全域) (磐田市)		
	遊水地機能回復	磐田市	(準) 田川沢 (上池・下池) (磐田市)		
	農用地の集約化	磐田市	継続実施 (全域) (磐田市)		
	農業用施設の整備・補修	磐田市	継続実施 (全域) (磐田市)		
	砂防施設等の整備	静岡県	砂防堰堤 (上神増沢) (R4年度～R6年度) (県)		
	森林整備・治山事業	静岡県・磐田市	万瀬地区間伐予定 (R4年度～R8年度) (磐田市)		
被害対象を減少させるため対策	水災害リスク空白域の解消 (土砂災害警戒区域LP測定による新規抽出)	静岡県			
被害の軽減、早期復旧・筆耕のための対策	各種防災情報の提供	磐田市	ハザードマップ全戸配布 (磐田市)	継続実施 (全域) (磐田市)	
	防災意識向上のための取り組み支援	市民・磐田市		継続実施 (全域) (磐田市)	
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成促進	静岡県・磐田市		避難確保計画作成促進・訓練実施 (県・磐田市)	
	水災害リスク情報空白地帯の解消 (洪水浸水想定区域図の公表、土砂災害警戒区域標識等の設置)	静岡県	洪水浸水区域想定図 2河川、土砂災害警戒区域標識 設置・更新 (県)		
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県・磐田市			
	サイボスレーダーによる水位の観測情報等の提供	静岡県			

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

●令和3年度の取組報告

■静岡県 一雲済川河道掘削 約4千㎡



■磐田市 田川沢河道掘削 約2百㎡



■静岡県 洪水浸水想定区域図の作成



一雲済川
洪水浸水想定区域図（案）
（R4.3公表予定）

■磐田市 洪水ハザードマップの作成



（R3.7作成）

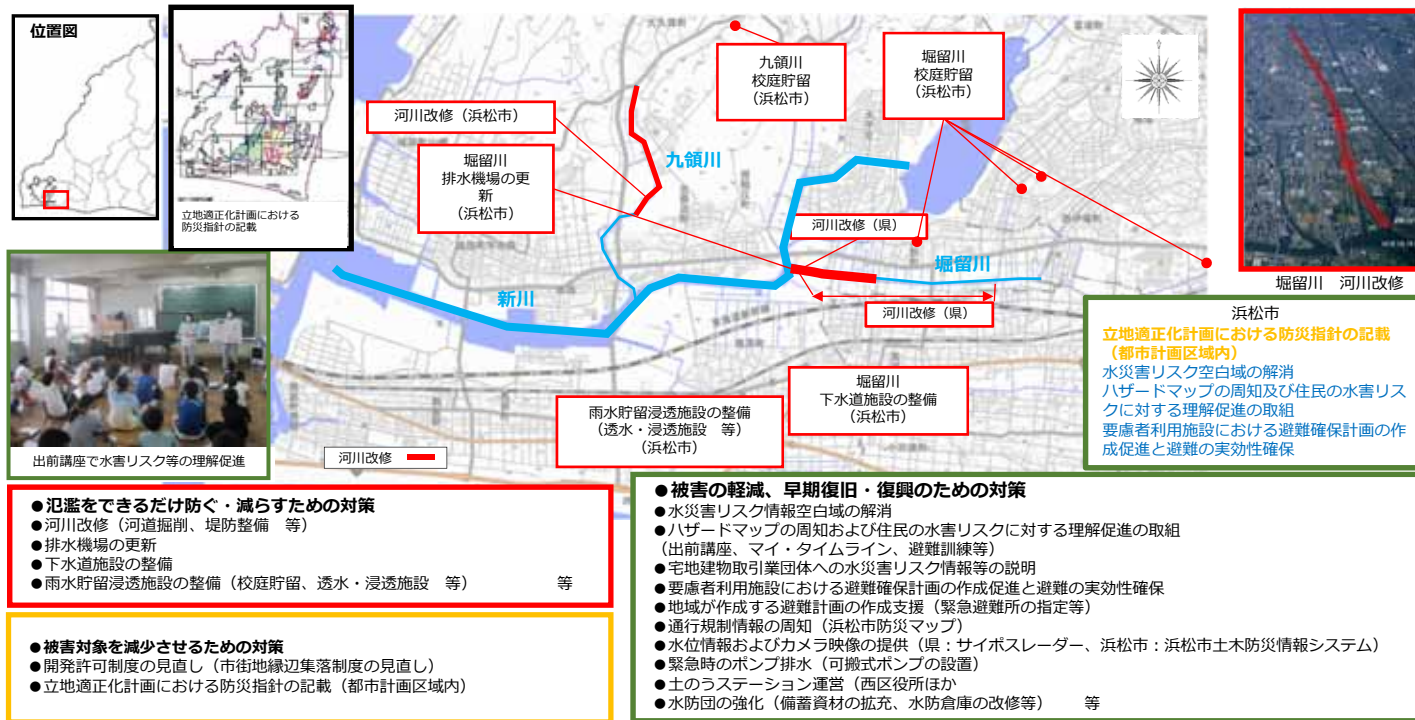
●今後5カ年のロードマップ

項目		実施主体	工程		
			令和3年度	令和4年度	令和5～7年度
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策		■堤防整備による治水安全度の向上	静岡県		築堤工 一雲済川
		■河道掘削、伐木等による流下能力向上	静岡県	河道掘削 一雲済川 約4,000㎡	河道掘削 一雲済川
			磐田市	河道掘削 田川沢 約200㎡	河道掘削 田川沢
		■堤防天端舗装による危機管理型ハード対策	静岡県	堤防舗装 一雲済川 約800m	堤防舗装
内水被害軽減対策	流出抑制対策	■ため池の機能維持	磐田市	ため池4施設機能維持（継続）	
		■田んぼ貯留地	磐田市	広報活動展開（継続）	
		■遊水地機能回復	磐田市	田川沢遊水地の適切な維持管理	田川沢遊水地の適切な維持管理
		■農用地の集約化	磐田市	継続	
		■農業用施設の整備・補修	磐田市	継続	
		■砂防施設等の整備	静岡県		上神増沢 砂防堰堤整備
		■森林の整備・治山事業	静岡県、磐田市	万瀬地区 森林経営計画作成	万瀬地区 間伐
被害対象を減少させるための対策		■水災害リスク空白域の解消 （土砂災害計画区域LP測量による新規抽出）	静岡県	航空測量（LP測量）	LP測量による 新規抽出
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		■水災害リスク空白域の解消 （洪水浸水想定区域図の公表・土砂災害警戒区域標識等の設置）	静岡県	洪水浸水想定区域図 2河川 土砂災害警戒区域標識 設置	土砂災害警戒区域標識 設置、更新
		■各種防災情報の提供	磐田市		ハザードマップ全戸配布
		■防災意識向上のための取り組み支援	市民、磐田市	継続	
		■要配慮者利用施設の避難確保計画作成促進	静岡県、磐田市	継続	
		■宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県	継続	
		■サイボスレーダーによる水位の観測情報等の提供	静岡県	継続	

●位置図 都田川水系流域治水プロジェクト

～くらしと水辺のつながりが残る浜名湖とここに流れ込む河川周辺の地域を水害から守る流域治水対策～

- 堀留川流域では、流域の浸水被害軽減に向け、県が河川改修を行い、市が下水道施設の整備や雨水貯留浸透施設の整備などの対策を実施していく。
- 九領川流域では、流域の浸水被害軽減に向け、市が河川改修や雨水貯留浸透施設の整備などの対策を実施していく。
- ソフト対策としては、浜松市土木防災情報システムなどを活用し、水位情報、カメラ映像、通行規制情報等を発信するとともに、出前講座や避難訓練の実施、更には土のうステーションの運営を通じて、市民による自助・共助の活動を支援していく。
- ハード対策の取組により、堀留川では、年超過確率 1/10 規模の降雨による洪水に対して床上浸水の発生を防止し、九領川では、年超過確率 1/10 規模の降雨による洪水を安全に流下させるよう整備を進め、ソフト対策と合わせて流域一体となった治水対策を進める。



●ロードマップ・効果

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 新川・堀留川流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】県管理河川や市管理河川の河川改修、排水機場の更新を進める。下水道施設の整備、雨水貯留浸透施設の整備に着手する。開発許可制度の見直し（市街地縁辺集落制度の見直し）、立地適正化計画に防災指針を記載する。
- 【中期】短期に引き続き、県管理河川や市管理河川の河川改修を進めるとともに、下水道施設、雨水貯留浸透施設の整備（浸透・透水性施設）に着手する。
- 【長期】中期に引き続き、県管理河川や準用河川の河川改修、下水道施設の整備、雨水貯留浸透施設の整備（浸透・透水性施設）を進める。あわせて、被害軽減のための取組をあらゆる関係者と一体となって推進する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修（河道掘削、堤防補強 等）	静岡県 浜松市			
	排水機場の更新	浜松市			
	下水道施設の整備	浜松市			
	雨水貯留浸透施設の整備（校庭貯留等）	浜松市			
	雨水貯留浸透施設の整備（透水・浸透施設等）	浜松市			
被害対象を減少させるための対策	開発許可制度の見直し（市街地縁辺集落制度の見直し）	浜松市			
	立地適正化計画における防災指針の記載（都市計画区域内）	浜松市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白域の解消	静岡県 浜松市			
	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等）	静岡県 浜松市			
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県			
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	浜松市			
	地域が作成する避難計画の作成支援（緊急避難所の指定等）	浜松市			
	通行規制情報の周知（浜松市防災マップ）	浜松市			
	水位情報およびカメラ映像の提供（県：サイボスレーダー、浜松市：浜松市土木防災情報システム）	静岡県 浜松市			
	緊急時のポンプ排水（可搬式ポンプの設置）	浜松市			
	土のうステーション運営（西区役所ほか）	浜松市			
	水防団の強化（備蓄資材の拡充、水防倉庫の改修等）	浜松市			

気候変動を踏まえた
更なる対策を
推進

※【短期】概ね5年 【中期】概ね10年目まで 【中長期】概ね11年目以降

お問い合わせ（浜松市域） 静岡県浜松土木事務所 053-458-7253 浜松市河川課 053-457-2451

●位置図 都田川水系流域治水プロジェクト

～くらしと水辺のつながりが残る浜名湖とここに流れ込む河川周辺の地域を水害から守る流域治水対策～

- 都田川及び釣橋川流域では、流域の浸水被害軽減に向け、県が河川改修を実施していく。
- また、治水協定に基づき都田川ダムの洪水調節機能の強化や、北区内の森林整備・治山事業による浸透能向上を図っていく。
- ソフト対策としては、浜松市土防災情報システムなどを活用し、水位情報、カメラ映像、通行規制情報等を発信するとともに、出前講座や避難訓練の実施、更には土のうステーションの運営を通じて、市民による自助・共助の活動を支援していく。
- ハード対策の取組により、都田川、井伊谷川では、年超過確率 1/20 規模の降雨による洪水を安全に流下させるよう整備を進め、ソフト対策と合わせて流域一体となった治水対策を進める。



具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

●ロードマップ・効果

- 都田川・釣橋川流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】県管理河川の河川改修、都田川ダム治水活用、森林整備・治山事業による浸透能向上、砂防施設等の整備を進める。立地適正化計画に防災指針を記載する。
- 【中期】短期に引き続き、県管理河川の河川改修、都田川ダム治水活用、森林整備・治山事業による浸透能向上を進める。
- 【中長期】中期に引き続き、県管理河川の河川改修、都田川ダム治水活用、森林整備・治山事業による浸透能向上を進める。あわせて、被害軽減のための取組をあらゆる関係者と一体となって推進する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修（河道掘削、堤防補強 等）	静岡県			
	治水協定に基づくダム の洪水調節機能の強化（事前放流等）	静岡県 浜松市			
	森林整備・治山事業	静岡県			
	砂防施設等の整備	静岡県			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画における防災指針の記載（都市計画区域内）	浜松市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白域の解消	静岡県 浜松市			
	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等）	静岡県 浜松市			
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県			
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	浜松市			
	地域が作成する避難計画の作成支援（緊急避難所の指定等）	浜松市			
	通行規制情報の周知（浜松市防災マップ）	浜松市			
	水位情報およびカメラ映像の提供 （県：サイボスリーダー、浜松市：浜松市土木防災情報システム）	静岡県 浜松市			
	土のうステーション運営（北区役所ほか）	浜松市			
	水防団の強化（備蓄資材の拡充、水防倉庫の改修等）	浜松市			

- 気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※ 【短期】概ね5年 【中期】概ね10年目まで 【中長期】概ね11年目以降

お問い合わせ（浜松市域） 静岡県浜松土木事務所 053-458-7253 浜松市河川課 053-457-2451

～市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』の中心市街地
を水害から守る流域治水対策～

●令和3年度取組報告と令和4年度取組み予定

【静岡県】

■都田川水系堀留川の水門整備



■馬込川水系馬込川の水門整備



■馬込川水系馬込川の河道掘削



【浜松市】

■都田川水系九領川の河川改修



■馬込川水系小林川逆流防止施設の整備



■土のうステーション運営

浜松南高校で作成した土のうステーションへ運搬。



●今後5カ年のロードマップ

取組実績

予定

項目	実施主体	令和3年度	令和4年度	令和5年度～令和7年度
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	■河川改修（河道掘削、堤防補強等）、水門整備	静岡県 堀留川、馬込川、水門整備 馬込川、都田川 河道掘削等	堀留川、馬込川 水門整備 馬込川、都田川 河道掘削等	継続
	■河川改修（河道掘削、堤防補強等）	浜松市 (二)九領川、(準)五反田川、(準)東芳川の改修	(二)九領川、(準)五反田川、(準)東芳川の改修	継続
	■排水機能の強化（ポンプ新設、増強、更新）	静岡県 浜松市 (準)高塚川のポンプ施設 基本設計	(準)高塚川のポンプ施設 基本設計	継続
	■排水機能の質的強化（遠隔監視、制御）	静岡県 浜松市 寺脇西エリアにおける排水 機場の質的強化の検討	排水機場の質的強化の検討	継続
	■逆流防止施設の整備（フラップゲート等）	浜松市 小林川逆流防止施設の整備	維持管理の実施	継続
	■下水道施設の整備	浜松市 天王ポンプ場の整備	天王ポンプ場の整備	継続
	■水田貯留（田んぼダム）可能性検証	浜松市 水田貯留の可能性検証	水田貯留の可能性検証	継続
	■雨水貯留浸透施設の整備（工程貯留等）	静岡県 浜松市 市内24校の詳細設計の実施	校庭貯留施設の工事の実施	継続
	■雨水貯留浸透施設の整備（透水・浸透施設等）	浜松市 浸透施設整備の他事例調査	浸透施設の実施可能性調査	継続
	■治水協定に基づくダムの洪水調節機能の強化（透水・浸透施設等）	静岡県 浜松市 都田川ダムの操作規定 の変更	継続	
	■砂防施設等の整備	静岡県 山田川砂防施設の整備	継続	
	■森林の整備・治山事業による浸透能向上	静岡県 浜松市 森林整備・治山事業	継続	
被害対象を減少させるための対策	■開発許可制度の見直し（市街地緑地集落制度の見直し）	浜松市 制度の見直しに向けた 庁内検討	庁内検討の継続	継続
	■立地適正化計画における防災指針の記載（都市計画区域内）	浜松市 庁内検討組織の設置	災害リスク評価分析の実施	継続
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	■水災害リスク情報空白域の解消	静岡県 浜松市 洪水浸水想定区域図 (県)一級河川3河川公表 (市)二級河川15河川作成着手	二級河川の浸水想定 区域図作成	継続
	■ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練）	静岡県 浜松市 出前講座の実施	出前講座の実施	継続
	■宅地建物取引業団体への水害リスク情報等の説明	静岡県 宅地建物取引業者への説明	宅地建物取引業者への説明	継続
	■要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と非難の実行性確保	浜松市 避難確保計画の作成依頼、 訓練の実施、宅地建物取引 業者への説明	継続	
	■地域が作成する避難経計画の作成支援（緊急避難所の指定等）	浜松市 地区防災計画の作成に 向けた支援	継続	
	■通行規制情報の周知（浜松市防災マップ）	浜松市 通行規制情報の リアルタイム提供	継続	
	■水位情報およびカメラ映像の提供 (県：サイボスリーダー、浜松市：浜松市土木防災情報システム)	静岡県 浜松市 サイボスリーダー・浜松市土 木防災情報システムでの提供	継続	
	■緊急時のポンプ排水（可搬式ポンプの設置）	浜松市 (準)高塚川、安部川流域 (市野)において緊急時の ポンプ排水の体制確保	他の浸水が予測する地域に おいてポンプ排水体制の確保	継続
	■土のうステーション運営	浜松市 土のうステーションの運営	継続	
	■水防団の強化（備蓄滞在の拡充、水防倉庫の改修等）	浜松市 水防団の活動費の増額	活動服の更新	継続

～ふるさとの心を伝える太田川水系の流域治水対策～

- 23 -

令和3年度取組報告と令和4年度取組み予定

■静岡県 河道掘削（太田川、原野谷川他） 約31万㎡

整備前 整備後

太田川（磐田市和口） 原野谷川（袋井市諸井）

■袋井市 準用河川改修の推進（松橋川、油山川）

整備後

雨水貯留施設の整備（袋井中学校）
松橋川（護岸工）

■森町 準用河川改修の推進（新沢川）

整備前 整備後

新沢川（浚渫工）

■磐田市 内水氾濫対策の強化（大島排水ポンプ場）

R3マイ・タイムライン講座（磐田グランドホテル）

大島排水ポンプ場（管渠工、躯体基礎工）

■掛川市 森林・整備（倉真、原泉地区）

整備前 整備後

森林環境譲与税を活用した間伐等を実施

■静岡県 堤防天端舗装（太田川、安久路川、倉真川） 約7 km

整備前 整備後

倉真川（掛川市大池）

■静岡県 水田貯留の整備 水田貯留の適地を検討

イメージ

多面的機能支払制度を活用した展開の検討と関係市町への周知

■静岡県 森林・治山整備による流出抑制対策

保安林改良（森町三倉）

■静岡県 砂防施設等の整備 流路掘削（小笠沢川他）

整備前 整備後

小笠沢川（袋井市豊沢）

■静岡県 水災害リスク空白域の解消 中小河川の洪水浸水想定区域図作成（垂木川など19河川）

イメージ

半ノ池川、安久路川、旧ぼろ川、祝川、磐田田中川、小笠沢川、法多沢川、馬込沢川、垂木川、家代川、西山沢川、東山沢川、倉真川、初馬川、掛川滝ノ谷川、掛川戸沢川、神代地川、海老名川、西之谷川

垂木川洪水浸水想定区域図（案）（R4、3公表予定）

今後5カ年のロードマップ

		取組実績		予定	
項目		実施主体	令和3年度	令和4年度	令和5年～令和7年度
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	■河川改修（河道掘削・伐木等）、遊水池整備、堤防天端舗装等	静岡県・袋井市・森町	河道掘削、護岸工他（太田川他） 堤防天端舗装（倉真川他）	河道掘削、護岸工（太田川他） 堤防天端舗装（太田川他） 遊水池整備（久野城址南）等	
	■治水協定に基づくダム洪水調節機能の強化（事前放流等）	静岡県		継続	
	■内水氾濫対策の強化（雨水ポンプ場の整備等）	袋井市 磐田市	大島排水ポンプ場（管渠工等）	柳原雨水ポンプ場（設計、整備） 大島排水ポンプ場（躯体、電気、設備等）	
	■雨水貯留施設の整備（校庭貯留・水田貯留）	袋井市 磐田市	袋井中・豊田中・豊田北部小	袋井中、今井小	浅羽中他
	■砂防施設等の整備	静岡県	流路掘削（小笠沢川他）	砂防堰堤工、三倉川支川ニョウロ沢他	
	■森林整備・治山事業による流出抑制対策	静岡県・掛川市 静岡水源林整備事務所	保安林改良、復旧治山等継続 間伐等（倉真、原泉）	森林環境譲与税を活用した間伐等	
	■農業水利施設の整備（排水機場、調整池整備等）	静岡県	ダム、排水機場等の改修 ため池の耐震化等	ダム、排水機場等の改修ため池の耐震等	
被害対象を減少させるための対策	■農業用ため池の耐震・豪雨対策	袋井市・森町 掛川市	調査・設計 調査	設計・施工 調査	設計・施工
	■水災害リスク空白域の解消（土砂災害警戒区域 LP測量による新規抽出）+ 立地適正化	静岡県	航空測量（LP測量）	LP測量による新規抽出	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	■立地適正化計画における防災指針の記載	全市町	記載内容の検討・防災指針の記載		
	■水災害リスク空白域の解消（洪水浸水想定区域図の公表・ハザードマップの作成・土砂災害警戒区域 標識等の設置）	静岡県・全市町	洪水浸水想定区域図の作成 土砂災害警戒区域標識 更新	ハザードマップの作成・配布 土砂災害警戒区域標識 設置、更新	
	■ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン研修・避難訓練等）	静岡県・全市町	継続	継続	
	■要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	全市町	継続	継続	
	■宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県・全市町	継続	継続	
	■サイボスレーダー等による河川水位情報等の提供	静岡県 袋井市・磐田市・掛川市	継続	継続	
	■危機管理型水位計の設置	静岡県		垂木川への設置	
	■土のうステーション運営	袋井市・磐田市・掛川市	継続	継続	
	■水防団の強化（水防倉庫の改修等）	袋井市	継続	継続	

菊川水系流域治水プロジェクト（菊川流域分会）

●位置図 菊川水系流域治水プロジェクト

～お茶を心豊かなまちを水害から守る地域づくり～

●グリーンインフラの取り組み 『地域住民や関係機関等と連携した水辺空間の利用・創出』

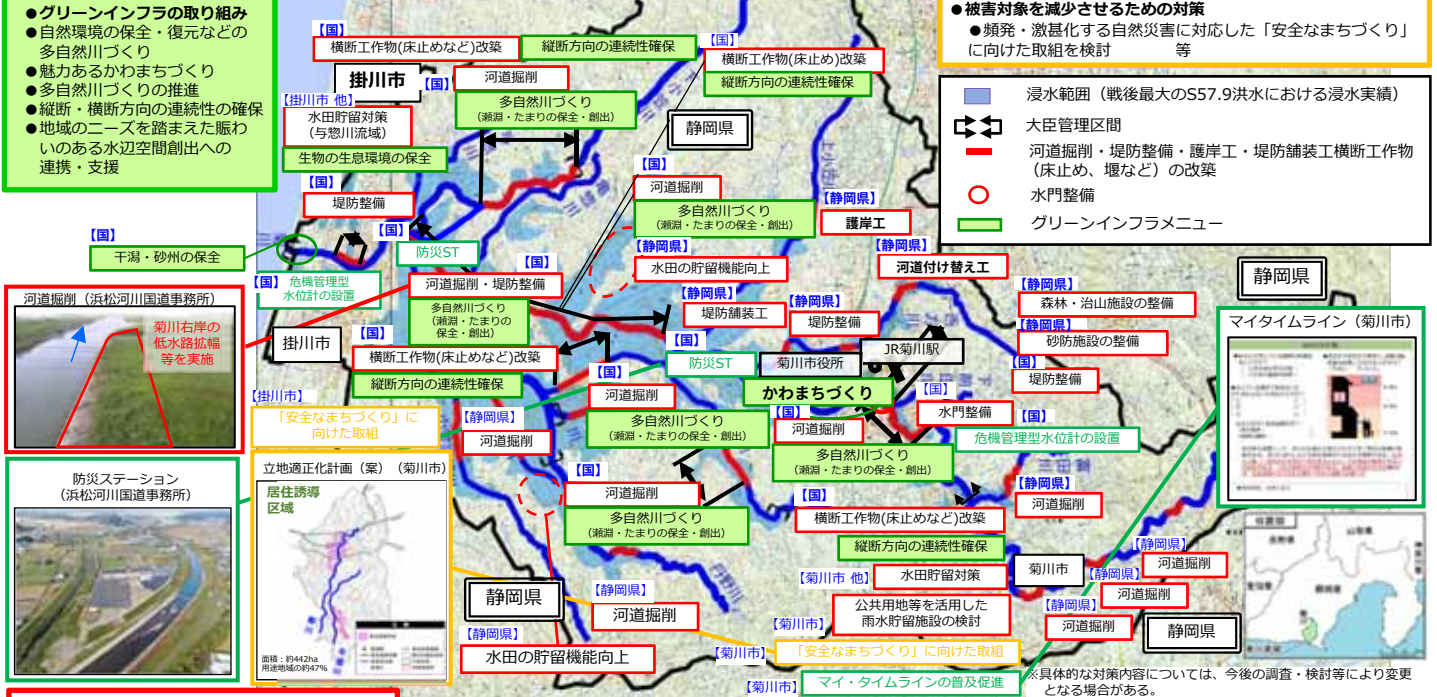
- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、菊川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 流域面積が小さく、流域の約48%が水田・茶畑等として利用されている流域であり、河川整備に加え、防災ステーションの整備や水田貯留等の流域対策により、水害リスクの軽減を図る。
- これらの取り組みにより、国管理区間においては、戦後2番目の平成10年9月洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の昭和57年9月洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。
- 水際の河岸整備にあたり、間隙を設けるなど河岸植生が形成されやすい水辺空間の創出や、地方公共団体や地域住民との連携の下、まちと水辺が融合した良好な空間の創出に向け、今後25年間（令和28年度）で多自然川づくりによる環境の創出など、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。

- グリーンインフラの取り組み
- 自然環境の保全・復元などの多自然川づくり
- 魅力あるかわまちづくり
- 多自然川づくりの推進
- 縦断・横断方向の連続性の確保
- 地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

●被害対象を減少させるための対策

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組を検討 等

- 浸水範囲（戦後最大のS57.9洪水における浸水実績）
- ⇄ 大臣管理区間
- 河道掘削・堤防整備・護岸工・堤防舗装工横断工作物（床止め、堰など）の改築
- 水門整備
- グリーンインフラメニュー



●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道掘削、堤防整備、横断工作物（床止め、堰など）の改築
- 堤防舗装工、護岸工、河道付け替え工
- 水門整備
- 水田貯留等
- 森林・治山施設の整備
- 公共用地等を活用した雨水貯留施設の検討
- 砂防施設等の整備 等

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 早期復旧に備えた対策（防災拠点の整備 等）
- 堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- 水害リスク空白域の解消
- ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- 要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- 国・県・市が連携したタイムラインの運用
- 国・県による洪水ハザードマップの作成支援

●宅地建物取引業団体への水害リスク情報等の説明

- 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
- 洪水予測等のプッシュ型情報提供
- 住民・教育機関等への防災・減災知識の普及啓発活動
- マイタイムラインの作成推進 等

- 菊川では、過去に浸水被害が発生した流域を対象に、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】重大災害の発生を未然に防ぐため、菊川下流部、下小笠川中流部、西方川で河道掘削等を実施する。また、掛川市において水田貯留を実施するとともに、掛川市、菊川市において立地適正化計画による防災指針の周知や実行。
- 【中期】重大災害の発生を未然に防ぐため、菊川下流部、下小笠川下流部、牛淵川中流部で河道掘削等を実施する。
- 【中長期】平成10年9月洪水（戦後2番目）と同規模の洪水を安全に流下させるため、菊川下流部、下小笠川下流部、牛淵川中流部で河道掘削を実施し、流域における浸水被害の軽減を図るとともに、避難場所や経路に関する情報の周知・住民の防災意識向上のための取組を推進していく。

●ロードマップ

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	重大災害の発生を未然に防ぐための河道掘削	浜松河川国道事務所	菊川・下小笠川下流部	菊川・下小笠川・牛淵川中流部	菊川・牛淵川上流部
	下前田川の水門整備	浜松河川国道事務所	下前田川	下前田水門の整備が完了	
	河川改修の推進	静岡県	西方川、江川、上小笠川		菊川・下小笠川、牛淵川の整備計画対応が完了
	河道掘削、樹木伐間による流下能力向上	静岡県	小笠高橋川、江川、丹野川、黒沢川、富田川、菊川		
	市管理河川の浚渫	菊川市	市管理河川		
	砂防施設等の整備	静岡県			
	堤防天端舗装による粘り強い堤防化	静岡県	西方川		先行して与惣川流域で水田貯留を試験的に実施（掛川市）
	水田貯留等	静岡県、掛川市、菊川市、水田所有者・耕作者		整備開始	継続的に水田貯留を実施予定
	森林・治山施設の整備	静岡県			
	公共用地等を活用した雨水貯留施設の検討	菊川市			
被害対象を減少させるための対策	頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組	掛川市、菊川市			
	水害リスク空白域の解消（土砂災害警戒区域LP測定による新規抽出）	静岡県			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報空白地帯の解消（洪水浸水想定区域図の公表、土砂災害警戒区域標識等の設置）	静岡県			
	避難場所や経路に関する情報の周知	浜松河川国道事務所、静岡県			
	住民の防災意識向上のための取組	掛川市、菊川市			
	各主体の避難行動や被害軽減行動を促すための情報共有方策やその伝え方	静岡県、菊川市			
	防災拠点の整備	静岡県、掛川市			
グリーンインフラ	多自然川づくり	浜松河川国道事務所	菊川・下小笠川下流部	菊川・下小笠川・牛淵川中流部	菊川・牛淵川上流部
	縦断方向の連続性の確保	浜松河川国道事務所	菊川・下小笠川下流部	菊川・下小笠川・牛淵川中流部	菊川・牛淵川上流部

お問い合わせ（菊川） 国土交通省浜松河川国道事務所 053-466-0116

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

●令和3年度取組報告と令和4年度取組み予定

■菊川の河道掘削



国土交通省 浜松河川国道事務所実施

■江川の伐木等



静岡県 実施

■森林整備事業



静岡県 実施

■菊川下内田地区河川防災ステーションの活用



菊川市 実施

水防団との水防訓練を実施

■出前講座・防災リーダー養成講座の実施

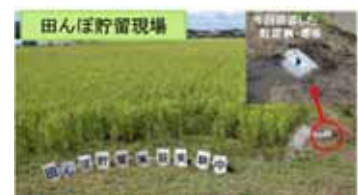


掛川市 実施

出前講座・防災リーダー養成講座を実施

■田んぼ貯留の推進

浜松河川国道事務所、静岡県、掛川市、水田耕作者 実施



令和3年8月より掛川市内の与惣川流域において田んぼ貯留の実証試験を開始しました。

●今後5カ年のロードマップ

項目		実施主体	令和3年度	令和4年度	令和5年度～令和7年度
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	■重大災害の発生を未然に防ぐための河道掘削	浜松河川国道事務所	菊川・牛淵川・下小笠川 河道掘削85km	菊川・下小笠川 河道掘削 低水護岸	継続
	■下前田川の水門整備	浜松河川国道事務所	水門、築堤護岸を整備	水門整備、築堤	継続
	■河川改修の推進	静岡県	西方川 低水路180m	西方川、上小笠川等護岸工を整備予定	継続
	■河道掘削、樹木伐開による流下能力向上	静岡県	菊川・丹野川・黒沢川・江川・小笠高橋川・富田川 河道掘削 6.2km	江川、小笠高橋川等 河道掘削・伐木を整備予定	継続
		菊川市		市管理河川の浚渫計画を策定予定	継続
	■砂防施設等の整備	静岡県		路掘削工、砂防堰堤工等を整備予定	継続
	■堤防天端舗装による粘り強い堤防強化	静岡県	西方川 天端舗装3160㎡		
	■水田貯留等	静岡県、掛川市、菊川市、水田所有者・耕作者	与惣川流域の約13haの水田を対象に排水樹や堰板を準備	台風期の実証実験を想定	継続
	■森林・治山施設の整備	静岡県	森の力再生事業の実施	引き続き森の力再生事業を実施予定	継続
被害対象を減少させるための対策	■頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取り組み	掛川市、菊川市	立地適正化計画に基づく防災指針位置付け検討に着手		継続
	■水災害リスク空白域の解消（土砂災害計画区域LP測量による新規抽出）	静岡県	航空測量（LP測量）	LP測量による新規抽出	
	■避難場所や経路に関する情報の周知	浜松河川国道事務所、静岡県、掛川市、菊川市	出前講座・防災リーダー養成講座を実施	継続	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	■住民の防災意識向上のための取組み				
	■防災拠点の整備	浜松河川国道事務所 掛川市、菊川市	下内田防災ステーションの運用	下内田防災ステーションの運用	
	■水災害リスク空白域の解消（推定氾濫図の公表・土砂災害警戒区域標識等の設置）	静岡県	洪水浸水想定区域図の作成 土砂災害警戒区域標識 更新	土砂災害警戒区域標識 設置、更新	継続
	■各主体の避難行動や被害軽減行動を促すための情報共有方策やその伝え方	静岡県、菊川市	プッシュ型道路冠水 情報提供体制の構築（菊川市内・試行）	継続	

～遠州流域のあらゆる関係者が協働し、
流域全体での水害を軽減させる治水対策の推進を目指して～

遠州流域治水協議会



遠州灘と流域市町村

構成員



浜松市



磐田市



袋井市



掛川市



菊川市



森町



設楽町



東栄町



豊根村



静岡県



愛知県



林野庁



国土交通
省



静岡地方気象台



(国研) 森林研究・整備機構
森林整備センター